

令和 7 年度第 1 回うきは市地域公共交通活性化協議会 議事録

日時:令和 7 年 5 月 12 日(月) 10:00~

場所:うきは市役所 3 階 大会議室

欠席:⑧重富委員、⑪長沼委員

代理:⑬永松委員、⑫三重野委員

赤:事務局 青:委員

1. 開会

(事務局)

・資料の確認

・出席者の確認(欠席者 2 名 19 名出席)

過半数の出席のため協議会設置要綱第2項の規定により会議成立

2. 出席者の紹介及び委嘱状の交付

(事務局)

・新たに委員となった方の紹介

④大原委員、⑬永松委員(代理→辻、椿、武末)、⑯小宮委員、⑰石井委員

委嘱状交付を行う。

3. 会長あいさつ

稲永会長あいさつ

4. 協議事項

(1) 令和6年度事業報告について

(事務局)

〔主な説明内容〕

うきはバス、予約乗合タクシー、西鉄バス上杉野線運行支援、うきは市地域公共交通計画策定について報告。うきはバスの利用者数の推移について前年度から利用者の大幅な変動はなくほぼ横ばい。予約制乗合タクシーについて令和 6 年度は小塩線、妹川線の 2 線運行しており、令和5年度と比べ妹川線が利用者数微増、小塩線が若干利用者数減少だが、全体として微増。

昨年度協議があった西鉄バス神杉野線運行支援について、令和 6 年 10 月 4 日から担い手不足により平日のみの 5 便に減便、令和 7 年の 4 月以降廃止となった。よって令和 6 年度の利用者数は前年度比減。地域公共交通計画は、3 月 21 日議会にて議決、策定。現在ホームページに掲載している。

(西鉄バス久留米より報告)

神杉野 4 月以降になり、苦情や意見等はなく、住民の方から感謝の意あり。うまく他の交通へ移行できている。

(2) 令和6年決算及び監査報告について

(事務局)

〔主な説明内容〕

歳入歳出決算報告。歳入歳出の差引残高は全額うきは市へ戻入。

監事より報告。

〔質疑応答〕

(委員)

予約制乗合タクシーの利用者数について目標値と比べるとどれくらいの位置にあるのか。

(事務局)

地域公共交通計画を昨年3月に作成し令和5年、6年度の実績が今後の目標値のベースとなる。

予約制乗合タクシーについてはうきは市地域公共交通計画の中に1便あたり1.5人と目標設定。

(委員)

乗合率が1.5人以上を超えると県の補助申請が可能。目標達成時には申請を。

緊急

●(1)(2)について議案のとおり承認する。

(3) 令和7年度事業計画(案)について

(事務局)

〔令和7年度事業計画について説明〕

- ・うきはバス、予約制乗合タクシー小塩線、妹川線、新たに新川・田箆・柚木線が開始。
ダイヤ改正し、4月からタクシー会社2社での運行となったが、問題なく運行開始できている。
新川・田箆線は神杉野線の代替交通として拡充し、4月から実証実験として開始。
10月から本格運行として国へフィーダー補助申請予定。(フィーダー補助申請概要説明。)
- ・10月より新たにAI オンデマンド交通導入推進事業を開始。
- ・うきはバスは令和8年9月まで、引き続き運行予定。
- ・AI オンデマンド交通導入推進事業について
国庫補助の交通空白解消緊急対策事業に申請。4月28日に採択。今後正式申請、決定後、事業開始予定。10月からの実証実験開始に向け業者選定準備を開始。バスの乗降場所(ミーティングポイント)について各自治協議会を回り、説明し、各区一か所ずつ希望を募っている。市内の平野部約200カ所にミーティングポイントを設置予定。
- ・地域公共交通活性化協議会の開催回数を5回予定。分科会(幹事会)や書面の開催も想定。

(4) 令和7年度予算(案)について

(事務局)

予算(案)を説明。

〔質疑応答〕

(委員)

AI オンデマンドは10月から公共ライドシェアいわゆる自家用有償旅客運送の予定で検討しているという認識でよいか。

協議会のスケジュールが7月、9月に設定されているが、公共ライドシェアの手続きは1か月標準処理期間がかかる。事前に協議会にかけられるよう調整が必要。

(事務局)

認識のとおり。7月末に協議会開催、10月から公共ライドシェアでの運行予定で協議をすすめたい。

(委員)

10月の実証実験から公共ライドシェアで、白ナンバーの車両での運行なのか。実証実験の代替車両はタクシー会社から提供し、緑ナンバーのまま公共ライドシェアという形の認識でよいのか。

(委員:運輸支局)

制度上、緑ナンバーのまま公共ライドシェアという形は可能。

自家用有償旅客運送の位置づけとしては4条(タクシー事業、乗合タクシー事業)で対応できないためやむを得なく、自家用車で有償運送をしてもよいというものである。2種免許の方が少なくなっている、人手が回らない中、やむを得ず有償運送で実証実験をするといった背景があり、公共ライドシェアが導入されている。タクシー会社と話し合い、どのような形でやっていくか固まった上で運輸支局へ相談を。

(事務局)

10月の実証実験に向けて10人乗り車両を3台購入予定としているが、納車が間に合わない。

そのためタクシー会社より車両を借りて、緑ナンバーで走行する予定。

料金について現段階の構想では実証実験初期に無料期間を設けたい。委員の皆様の協力も借りながら準備していきたい。

(委員)

懸念点としてタクシーからの乗り換えが増えると、タクシー事業が成り立たなくなる。しっかり協議・検討していきたい。

(事務局)

その点は非常に重要な部分であると認識している。

共存共栄していくことが最も重要。公共交通業界の方達と意見をすり合わせ進めたい。

(委員)

運賃無料について市が本来発生する運賃を補填する形であれば有償運送を行って構わない。そうでなければ事業登録の対象にならないため、整理が必要。

無料で実証実験を行った際に効果的なデータ取れない可能性あり。検討が必要。

(事務局)

有償時のデータをしっかりとっていく。

(委員)

4月よりスクールバスについて朝、小学生と中学生が混乗している。AI オンデマンドバスの実証実験が始まるタイミングで中学生の部活下校時間の検証や保護者へのアンケートの実施を山間部の乗合タクシーで検討できないか。

(事務局)

現状、乗合タクシーでアンケート調査を行う予定はないが、AI オンデマンドバスが平地から山間部へ広げる検討をするタイミングまでにはなんらかの意見聴取は必要であると考えます。

(委員)

新川・田箆地区だけをフィーダー補助の新規路線として申請されるということでしょうか。

また、他の2地区は県の補助申請はしているのか。

県補助金の要件の乗合率1.5人以上を満たしていないため申請をしていないという認識でしょうか。

(事務局)

今回は、新川・田箆のみのフィーダー補助の申請となる。妹川、小塩線はスタート当初10年程前に福岡県の補助を使っていたが、現在は申請していない。

要件を満たしていないため申請していないという認識のとおり。

フィーダー補助は国交省からの補正がある場合は事務局に一任いただき修正する可能性があります。

(委員)

AI オンデマンドは実証実験をした上で思うような成果を上げられない場合、他の方法も考えられるのか。

(事務局)

本格運行が前提だが、実証実験をした上で思うような成果を上げられない場合は再度検討することも必要と考える。

● (3) (4) について議案のとおり承認する。

5. 諸連絡

(事務局)

委員の退任について協議会の副会長の重松副市長が6月1日をもって副市長としての任期満了に伴い、会議の副会長も退任となる。

(重松委員より挨拶)

昨年度より交通計画の策定や検討等、会議の場で議論いただき感謝申し上げます。

(事務局)

次回の開催は7月下旬を予定。9月の開催予定については遅いのではないのかと意見をいただいたため7月の1回にまとめる可能性がある。

6. 閉会

令和7年度第1回うきは市公共交通活性化協議会(法定協議会)委員名簿【5月12日】

No.	区分	要綱	所 属 ・ 役 職	氏 名 (敬称略)	役職	出欠	代理出席者
1	委員	1号委員	西鉄バス久留米株式会社 常務取締役 営業本部長	下川 裕二		出	
2	委員	2号委員	うきは市タクシー協会 会長 (浮羽交通株式会社 代表取締役)	古賀 公彦		出	
3	委員	3号委員	一般社団法人福岡県バス協会 専務理事	中川原 達也		出	
4	委員	4号委員	JR久留米駅 駅長	大原 邦秀		出	
5	委員	5号委員	うきは市社会福祉協議会	高山 敏枝	副会長	出	
6	委員	5号委員	新川地区自治協議会 地域活性部副部長	高松 恭子		出	
7	委員	5号委員	福富地区自治協議会 事務局長	内藤 一成		出	
8	委員	5号委員	うきは市障がい者福祉協会 会長	重富 浴夫		欠	
9	委員	5号委員	うきは市老人クラブ連合会 事務局長	川原 唯男		出	
10	委員	5号委員	うきは市PTA連合会 吉井中学校PTA	川迫 昭博		出	
11	委員	5号委員	福岡県立浮羽実光高等学校PTA	長沼 秀彦		欠	
12	委員	5号委員	うきは市議会議員	高木 亜希子		出	
13	委員	6号委員	九州運輸局福岡運輸支局長	永松 靖二		代理	福岡運輸支局 企画調整担当課長 (首席運輸企画専門官) 辻 美貴善
						代理	福岡運輸支局 運輸企画専門官 椿 翔太
						代理	福岡運輸支局 運輸企画専門官 武末 将児
14	委員	7号委員	福岡県交通運輸産業労働組合協議会 (西鉄グループバス労働組合 執行委員長)	箴島 健嗣		出	
15	委員	8号委員	うきは警察署 交通課長	麻生 浩二		出	
16	委員	9号委員	福岡県久留米県土整備事務所 企画班 地域整備主幹	小宮 一臣		出	
17	委員	10号委員	九州産業大学 理工学部 情報科学科 教授	稲永 健太郎	会長	出	
18	委員	11号委員	うきは市 副市長	重松 邦英	副会長	出	
19	委員	11号委員	うきは市 市長公室長	石井 太		出	
20	委員	13号委員	うきは観光みらいづくり公社	田箆 正規	監事	出	
21	委員	13号委員	福岡県企画・地域振興部交通政策課 課長補佐	三重野 直美		代理	福岡県企画・地域振興部交通政策課 主任主事 安増 裕希
事務局		うきは市 企画政策課 課長		手島 直樹			市職員
		うきは市 企画政策課 交通政策係 係長		矢野 和子			市職員
		うきは市 企画政策課 交通政策係 主事		小河 和貴			市職員
		うきは市 企画政策課 交通政策係		山崎 秀幸			市職員